

都市計画泉州山手線及び関連都市計画道路の変更について

《説明会の開催状況について》

◆開催日及び参加者数について

日 時	場 所	参加者数
7月19日(水) 19時～	桜台市民センター	62名
7月20日(木) 19時～	山直市民センター	98名
7月23日(日) 10時～	福祉総合センター	74名
7月23日(日) 19時～	東岸和田市民センター	46名
合 計		280名

◆質疑・意見の概要について

質疑・意見の概要	回答概要
都市計画案について	
産業誘致も考慮した道路であるならば、幅員は31mのままで良いが、車線数を6車線とすべき	・将来交通量推計に基づき、4車線に対応可能 ・沿道の土地利用等の状況を踏まえて交通処理を検討
都市計画手続きについて	
説明会から公述申出までの期間について、半年程度必要	・素案に対する公聴会制度の他に、案に対し意見書提出もできることから、十分意見の反映は可能と考えている
鉄道計画について	
泉北高速鉄道の計画は、どうなったのか	・鉄道事業の目途が立っていないことから、幅員31mに鉄道は含まれていないが、市として鉄道延伸の取組みも並行して進めている ・将来的な整備に対応可能な幅員と考えている
幅員31mで、将来、鉄道整備が可能という説明に疑問がある	・国道26号:標準幅員30m・6車線 4車線道路としては広い幅員
泉州山手線の事業について	
事業着手及び完了時期について	・事業実施区間については平成32年度までに着手 ・1区間の整備に概ね10年かかる
・既存道路との交差形態について ・溜池の水量や構造等について ・動植物など自然環境への配慮について ・騒音・振動対策について	・事業実施区間となった際には、詳細設計等を行い、地元と協議を行いながら進めていく
関連都市計画について	
道路整備にあわせて線引き・用途地域等の見直しを行うのか	・並行して、泉州山手線沿線のまちづくりについて検討を進めており、その状況を踏まえながら都市計画について検討を行う